



# し ら さ ぎ

目黒区立第八中学校  
学校だより NO.23  
(通巻43号)  
平成26年(2014)  
3月4日(火)

## 『学校評価アンケート』集計結果報告

校長 飯野 博史

桃の節句も過ぎ、ようやく春の暖かい日差しが降り注ぐようになりました。体の中にも力がみなぎるようです。学年のまとめをすると同時に、新年度の準備を進めていく時期となりました。意欲や希望をもって新年度のスタートがきれいに指導していきます。

音楽室からは「旅立ちの日に」が聞こえてきます。20日(木)の卒業式、3年生の門出を祝い、和やかな中にも厳粛な式にしていきます。ご協力、よろしくお願いいたします。

昨年11月に生徒、保護者、地域の方、教職員を対象とした「学校教育アンケート」を実施しました。保護者の方から219通の回答をいただきました。これは全家庭数の約84%にあたります。(昨年度は約85%)たくさんのご協力、ありがとうございました。

記述欄には厳しいご意見もありましたが、学校に対する応援ととらえ、前向きに検討してまいります。集計結果をもとに、地域代表の方からなる「学校評議員会(学校評価委員会)」を開催し、ご意見をいただきました。

今年度はさらに「第三者評価」を行っていただきました。これは教育関係の有識者の方に客観的に八中を見ていただき、評価をしていただくものです。学校改善に向けてさまざまなご意見をいただきました。関係書類を添付いたしましたのでご覧ください。

「学校教育アンケート」での保護者の方からの主な意見を掲載します。

### 【教育目標について】

・学校の教育目標については共感しております。・現在の教育目標と同様に、強い精神力と隣人への感謝の気持ちをもてる人に成長するよう、これからも家庭と学校で協力し、豊かな成長の環境づくりをしてほしいです。・教育目標「求めて学ぶ」はこれからも非常に大切な課題だと思います。道徳や学活の時間などを利用して、たびたび教育目標についてみんなが考える機会をたいへん重要だと思います。

### 【心の教育について】

・社会のモラルなどは集団、学校で学ぶものだとは思いますが、親が背中で語らなければ、いつも自分は感じています。・道徳授業地区公開講座のとき、子供たちが積極的に発言していてとてもよかった。授業の題材も「電車内でのマナー」という身近なもので、子供たちの発言から、みんな大人のように考えるんだなととても感じました。中学生は半分以上大人なんだ、と思いました。・様々な体験によって心は育つと考えられますので、体験活動の充実を臨みます。

### 【学習指導について】

・学力の定着に向けてはもう少し工夫がほしい。今年は進路に対する指導が強化されているのがよく分かる。・いつも色々細かく指導していただきありがとうございます。しかし、授業の中で、ある一部のルールを守れない生徒がいると、先生のおっしゃること、授業内容も聞き取れないという話も聞きます。・放課後学習教室以外にも、ご多忙の中、個別の質問にも応えていただきとても感謝しています。学習面では上級学年になってからは追いつくことが難しい場面もあるようです。1年生の段階で遅れを出さないことが大切なのではないでしょうか。

### 【体育・健康教育について】

・健康管理は学習にも大きくかかわってきます。よい生活リズムをつくることで学習の向上にもつながるということを子供たちに伝えていけたらと思います。・運動会、毎回思うのですが、生徒たちはもっと頑張れると思います。充実感がもてるくらい、力を入れて取り組めないでしょうか。・息子が3年生ということもあり、運動する機会が減りました。体育や健康教育の大切さを強く感じています。これから寒い冬だからこそ、体を鍛えるチャンスは積極的にもつべきだと思いました。

### 【特別活動について】

・八中は部活動のレベルは高いと思います。先生方や外部指導員の方々のご指導が熱心なので感謝しております。・学校行事は充実しており、とてもよいと思います。平日だけでなく、土曜日にも開催していただけるので助かります。部活動は、部によりかなり練習などに差があるようですので、どの部も全く同じとは無理だと思いますが、もう少しバラツキがないようにしていただいてもよいのではないかと思います。・合唱コンクールや運動会など、行事の雰囲気がとてもよいと思います。子供一人一人のよさが出ていて、なおかつ全体としてもまとまっていて、中学生はともしっかりしていると思いました。

### 【学校生活全般について】

・毎朝楽しく元気いっぱい登校し、元気に「ただいま。今日学校でね…」と笑顔で話してくれる娘の様子で学校生活に満足していると実感しております。・子供が毎日楽しく通っていて、勉強も部活動も充実した生活を送っているように見えるので学校がよい雰囲気なのだと思えます。・学校に行くと、特に2、3年生から積極的にあいさつをしてくれるのは、とてもよい印象をもちました。

### 【情報の発信、家庭・地域との連携について】

・学校内での問題について迅速に保護者会を開催するなど、保護者の不安を取り除く情報発信があったことはとてもよかった。学校からのお便りで学校生活の様子を知ることができている。・毎週の学年だより、ホームページの写真、メッセージなど、お伝えくださる気持ちがよく伝わってきます。全体的な情報だけでなく、一人一人の子供の状況など、個々にお知らせくださる機会も増やしていただけるとさらにうれしいです。

### 【特色ある教育活動について】

・「朝の読書」は主体的に本を選び、親しむ習慣づけになり、たいへんよいと思う。国語の授業は少人数で、一人一人の発言する機会が増え、参加型の授業で活気があっていいと思う。・運動会やテスト期間中でも「給食がある」という点は、八中の特色ある教育活動の一つであると思います。・E組と通常学級との交流がもたれているようで心温まる。E組との交流の中からの学びも根付いてほしい。・活動の内容はよいと思うが、生徒がもっと積極的に取り組めるとよいと思う。

## ○小・中連携『二校研修会』

2/19 大岡山小学校にて

大岡山小学校と八中とで、小・中連携の取組の一つ『二校研修会』を実施しました。毎年2回、それぞれの学校を全教職員が訪問し、授業見学をした後に研修を深めています。今回の研修テーマは、「各教科で思考力・判断力・表現力をどう育てているか」でした。大岡山小学校の5校時の授業を見学した後、各教科に分かれて話し合いを深めました。

「中学校でも音読の指導がもっと必要だと思った」  
「正解だけを求めるのではなく、途中の考え方を大切にしたい」など、それぞれの学校の課題や身に付けさせたい学力が明らかになりました。八中校区の子どもたちの健全育成を目指して、今後も小・中の連携を深めていきます。

※ 写真は「算数・数学部会」の様子です。

